

ワーキングウーマンとバッグ

イー・ウーマン調査「ワーキングウーマンとバッグ」
<http://www.ewoman.co.jp/>

春はバッグ

この春、過半数(52.5%)のイー・ウーマンリーダーズが新しいバッグを買ったり、買う予定を持っていた。春はバッグの季節でもある(グラフ1)。新しいバッグを買う理由は「気分転換」(39.4%)、「洋服に合わせて」(33.8%)、「春だから」(26.6%)が上位3理由(グラフ2)。コートを脱ぐと、バッグも装いを新たにして春らしいものが欲しくなるのが女心である。バッグの予算は1万円未満が34.9%、1万円~2万円未満が24.6%、2万円~3万円未満が14.4%と、3/4近くが3万円未満のお手頃価格を予算としていた。気分転換目的が主であるため、春とはいえ、財布の紐はそう簡単に緩められない。

収納力がいちばん!

リーダーズの9割近くが仕事用のバッグを必要とし、半数強が通勤・仕事専用のバッグを持っている(グラフ3)。約9割がA4以上のサイズの書類が入る大きさのバッグを通勤や仕事に使っていた。そこはワーキングウーマンのこと、小さなハンドバッグでは仕事の要は足りないのである。仕事用のバッグを選ぶときの重視点の第1位も「書類や資料を入れるのに、十分な大きさであること」(75.3%)と十分な収納力の必要性があげられていた。続いて「ポケットや仕切りなど、機能性が工夫されていること」(53.8%)、「持ちやすい、肩にかけやすい」(49.7%)、「本体が軽い」(46.4%)などが上位に上がっていた(グラフ4)。

お気に入りのバッグが見つからない

売り場で資料やファイルがきちんと入ることをチェックしたり、肩にかけてみたり、手に持ってみたり。また、女性は男性に比べて化粧ポーチやカード類など、色々と細々とした持ち物が多い。いつでも必要なものがきっと取り出せるように、かといってたくさんモノを入れても体に負担にならないように、手が痛くなったり肩が痛くなったりしないように、洋服が着崩れないように...チェックポイントは山ほどある。ワーキングウーマンのバッグ選びはそう簡単にはいかない。その結果、仕事用バッグ選びには2割強がふだんからとても苦労しており、「やや苦労している」を加えると、6割のワーキングウーマンがなかなかお気に入りのバッグが見つけられない。

その原因の一端として考えられるのが、デザインより機能性を重視すること。世の中、百貨店や街のショップにはデザイン性に富んだ女性向けのバッグはあふれているが、なかなか収納力や機能性という点でワーキングウーマンのおめがねに適うものは見つからない。

ワーキングウーマンの御用達ブランドは

そんな彼女達のお助けブランドの代表格となっているのがアメリカのコーチ(COACH)。ロゴの「C」を織り込んだ丈夫なバッグや、上質な皮を使ったバッグで働く女性達の心を捉えており、街でもよく見かけられるブランドの1つである。プラダやヴィトンを抑え、イー・ウーマンのワーキングウーマンの人気No1ブランドとなっていた(表1)。機能性重視ではあるが、やはり質の良さやデザインも捨てがたい、これもお気に入りのバッグ選びを難しくする要因のひとつ。ブランドに拘らず、使い勝手のよさ優先でノーブランドのバッグを使っていたリーダーズは約2割に留まっていた。

収納力と機能性に富み、軽くて持ちやすい、そしてなおかつデザインも優れたバッグ。こんなバッグがあれば、いつも彼女達の心をつかむことが出来る。巷にあふれたバッグとは一線を画したワーキングウーマン、スマート・コンシューマー御用達のバッグ、どなたか一緒に考えてみませんか。

● この春、新しいバッグを買いましたか<グラフ1>

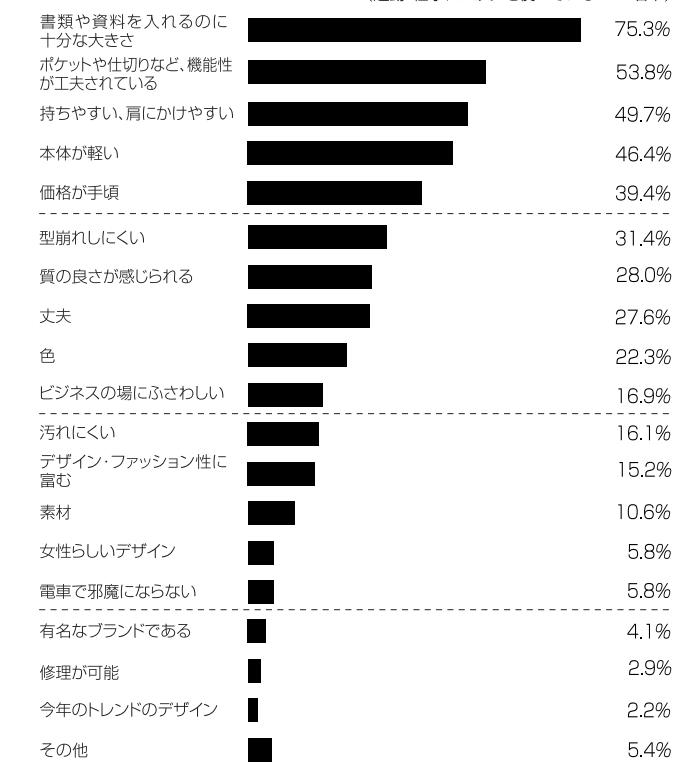


- 買った
- これから買う予定
- 買う予定はない
- 何も決めていない

(総回答数 874名)

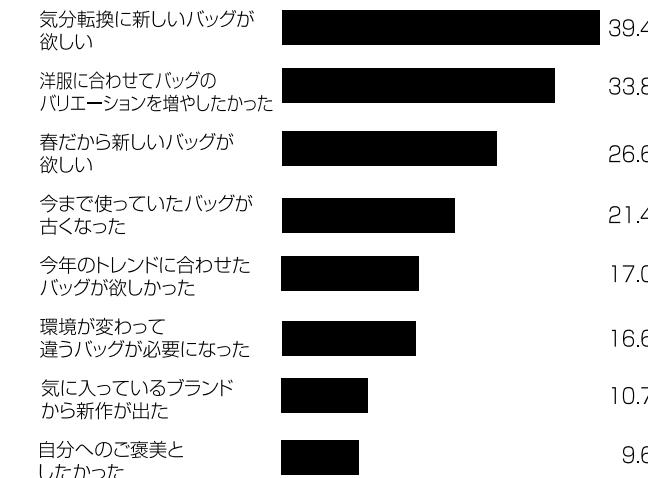
● 仕事用バッグの選択重視点<グラフ4>

(通勤・仕事にバッグを使っている757名中)



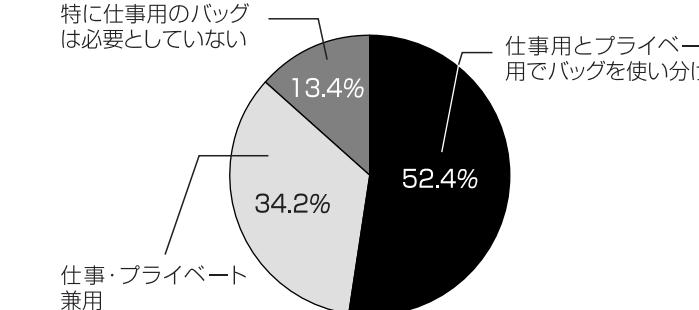
● この春、バッグを買った(購入予定)の理由<グラフ2>

(この春バッグを買う、買う予定の459名中)

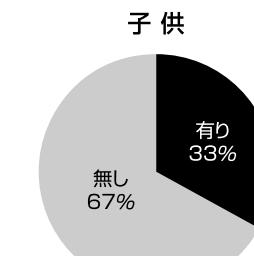
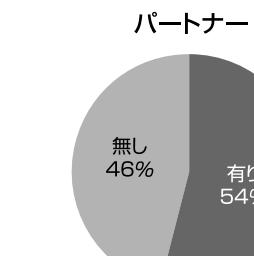
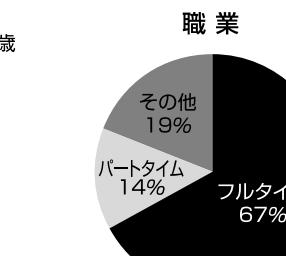
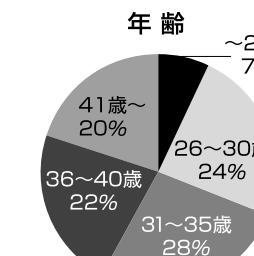


● 仕事用バッグとプライベート用バッグの使い分け<グラフ3>

(総回答数 874名)



LEADERS DATA



<調査概要>

調査実施:2003年4月18日~21日
 調査方法:インターネットによる自記入式アンケート
 対象:イー・ウーマンリーダーズ
 有効回答者数:874名